私たちの一票

第13号

一票が 政治を変える 18歳

平成29年4月26日発行 四日市市明るい選挙推進協議会 (諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



市文化会館で開かれた新成人への選挙啓発に参加した地区幹事の皆さん

若者たちの選挙権と私たちの啓発活動

明るい選挙推進協議会会長 高橋 佳子

2016年7月10日に行われた第24回参議院議員通常選挙は、今まで20歳以上とされていた選挙権年齢が18歳以上になった初めての国政選挙でした。この70年ぶりの選挙権年齢引下げの改正は、テレビや新聞などで大きく取り上げられ、関心も高まりました。

私たち四日市市明るい選挙推進協議会の委員も、投票参加を呼びかけるため、市のイベントや地区行事へ出向いて、趣向を凝らした啓発で盛り上げました。

選挙の結果、18、19歳の投票率は、20歳代を上回り、10代の若者の政治・選挙への関心の高まりがうかがえました。

これからも、若い皆さんには、引き続き、主権者意識を持って選挙に参加していただきたいと思います。

昭和38年2月8日に発足された「四日市市明るい選挙推進協議会」は、来年55年を迎えます。私たちのスローガン「継続は力なり」を原点に、多くの先輩方の知恵と行動力で発展してきた活動を将来を担う若者たちに伝えながら、投票率の向上に努めていきたいと思います。

表彰受賞者のご紹介



長年、地区での啓発事業をはじめ、明るい選挙の推進にご尽力された委員には 市選挙管理委員会委員長から表彰いただいております。

今年度は、海蔵地区の笹原久子様が表彰されました。おめでとうございます。

退任のご挨拶 前市選挙管理委員会委員長 市橋 愛爾

去る3月27日の任期満了に伴い、選挙管理委員及び委員長を退任いたしました。

在任中、明るい選挙推進協議会の委員の皆さまには、大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

私は選管委員として42年余、平成8年12月からは委員長として、 本市の啓発事業や選挙の執行にかかわらせていただきました。この間、



平成28年度総会での市橋前委員長

本市明推協の「はたちのしおり」を新成人に配布する活動が、公益財団法人明るい選挙推進協会に参考事例として紹介され、全国的に注目されたことが大変強く心に残っております。

また、衆議院の小選挙区制導入に伴い四日市市が三重県第2区と第3区に分割されたことや、市長選挙において全国でも先進的な電子投票を実施したことも印象深く思い起こされます。

昨今、全国的に選挙の投票率が低下する中、選挙啓発はなかなか成果が見られず、厳しい状況にありますが、若い有権者に向けた啓発を中心に粘り強く継続していくことが必要であり、明推協の啓発活動がますます重要になってくるものと考えております。

最後になりますが明推協委員の皆さまのご健康と今後のご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

選挙管理委員会委員のご紹介

四日市市議会2月定例月議会で下記の選挙管理委員4名が選ばれ、渡邉八尋氏が委員長に決まりました。

委員長 渡邉 八尋 委員 小林 慶太郎 委員 伊藤 万里子 委員 毛利 彰男

モデル地区事業 三宅 惠子 (大矢知)

JAZZ FESTIVAL の合同啓発に参加した委員の皆さん

モデル地区になり、地区会議をし、どのように啓発するか相談しました。まずは大矢知地区センター館長さんに同行していただき、小学校へ「明るい選挙啓発ポスターコンクール」の作品募集の依頼をしました。大矢知地区の啓発活動では、盆おどり大会、敬老祭、文化祭で啓発物品を手渡し、投票に行っていただくようにお話をしました。

また、市立博物館前で開催された「四日市 JAZZ FESTIVAL」では、モデル地区合同で啓発しました。「選挙に対する関心があるのか?」と疑問に思うことも多々ありましたが、この啓発により関心がどんどん高まり、投票率アップにつながることを願っております。

参議院議員通常選挙の臨時街頭啓発 久志本 正彦 (羽津)

丁度期日前投票立会の時期で中間の頃です。近鉄四日市駅付近で街頭啓発と言って、ポケットティシュ等を道行く人に渡しながら啓発するのです。

勿論よく判るように肩から白いタスキを掛けて「正しい一票で明るい社会」の啓発です。声を掛けながら手渡しするのですが、気持ちよく貰ってくれる人や知らないとばかり無口で通り過ぎる人、様々な有権者の方に出会う訳です。

この様なボランティア活動で少しでも「投票して下さい」と心の中で念じながら行っている私たち明推協の皆さんです。選挙管理委員会発表の投票率一覧で少しでもあがっているとうれしい気持ちでした。

市議会の傍聴 平良 直美(日永)

平成28年12月8日に四日市市議会本会議の傍聴を致しました。交通安全施策について、都市整備・自転車レーンの整備 交通事故のないように、都市整備をし、自転車・自動車の運転者・歩行者のマナー向上、弱者の交通安全等いろいろ取り組んでいるようで有難いことだと思います。

不登校・適応指導教室等についても大切な問題だと思いますので、同様により良くなるように期待しています。四日市市議会の傍聴がこの日は明推協の委員様だけのように見受けられ、一般の方の傍聴が見受けられませんでした。もっと一般の方々の傍聴が増えれば、市政の関心も高まるのではないでしょうか。

四日市大学における啓発 鈴木 正明(日永)

平成28年10月29日(土)に四日市大学祭に於いて、四日市市明るい選挙推進協議会各地区幹事で選挙啓発(ウエットティッシュ配布)を実施しました。

私達、明推協各地区幹事は選挙権年齢が20才から18才に引き下げられた事を説明しながら、四日市市長選挙が1ヶ月後(11月27日)に施行される事を活発に啓発して、四日市市長選挙投票参加を呼びかけました。大学生の選挙に対する反応が鈍く、選挙に対する認識も甘く、これからの選挙啓発に於いて、明推協のありかたをより若年層に理解してもらえるよう、又選挙投票参加を向上させることが、今後の課題だと考えます。

成人式での啓発活動のひとこま 服部 善男 (三重)

今年の成人式(1月8日)は、雨の中での式典となりました。私たち推進委員は啓発物資を手に新成人の中へ啓発に向かいました。3名のグループのきれいな振袖の着物を着た女性に近づき「成人になられておめでとうございます。」と挨拶をしながら半纏のえりを見せて「四日市市明るい選挙推進協議会です。私たちは、一人でも多くの方に選挙に行っていただくよう運動をしています。次回の選挙には是非貴重な一票を投じて下さい。」とお願いしたら3名とも「すでに2回選挙に行ったよ。なのに投票率が低いのはなんで?」と聞かれました。最近は、選挙に関心を持つ方々が少なくなり、私たちの活動は直ちに結果が現れない一面もありますが、気長に根気よく活動を続けていれば、いつかは成果が上がるものと確信していますので、「これからも必ず選挙に言ってください」と伝えました。

三泗支会指導者研修会に参加して 山田 眞美子(河原田)

今回は日本国憲法改正手続きについて、憲法96条の話を聞きました。改正は衆参両議院の三分の二以上の賛成で国会がこれを発議し、国民に提案してその承認を経なければならないとありますが、まだ未経験の事で、国民投票になるまでに国会の各院の本会議審査を行い総議員の三分の二以上の賛成(衆議院317名、参議院162名)議決後に国民に放送及び新聞広告などで発信されることになります。

国民投票運動は、原則規制はなく、文書図画・自動車・拡声器の使用ができますが、従来通り投票事務関係・選管委員・職員には制限があるそうです。三重県選挙管理委員会の笹之内様の講演を約90名が、1時間あまり聞き、その後展望台で四日市の町や鈴鹿の山並みを見て解散しました。



「四日市大学祭」での選挙啓発



四日市港ポートビルで実施された「三泗支会指導者研修会」



お世話になります。

平成 29 年度明推協委員名簿

○印は地区幹事

平成29年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
富洲原	○鈴木 典子 松本橋木 はな修築正 野呂 野子	日永	○鈴木 正明 平良 直美 寺本 美 新 東 前 東 前藤 千登世	小山田	○萩 伸元 水野 幸子 北尾 喜子 平尾 充子 椎名 茂則	11 重	○服部水田部島武木服中國鈴木 勝信	大矢知	○三宅 惠子 筑紫 家孝 林 純子 野呂 五男 三輪 真純	中部	○須 水豊三 一之子存雄 三藤田山 田田中口 田田中口
富田	○髙 進建 養養 養養 養生 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	四郷	○古川とし子 伊藤 町子 森 勝生 平井 好章	川島	○北川 幸男 杉 惠子 水野 慶子 袴田 政廣 清水 正己	県	○神代 正規 水谷 秀子 赤井眞知子 矢田 惠美	河原田	○山田眞美子 今村 亘 大平さなえ 高橋 艶子 田中 啓之	海蔵	○笹原 毎原 一年 前川田 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十
羽津	○ 八巻 本 大 尾 曜 田 安 田 田 田 田 田 田 田 田 職 井 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	内部	○堀 南夫 加藤 秋京 村山岨 村山岨 光本 哲夫 哲夫 横子 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大	神前	○鈴木 敏夫中村 久美佐野しのぶ川村きさ代渡辺 勝利	八郷	○進士 弘 石田 隆子 三林 政見 山尾 和子	水沢	○森 敏彦 吉岡 一樹 田中 秋子 西村多美子	橋北	○山本江里子 塚脇 大仁 服部 富子 諸岡 彌
常磐	○加藤 繁保 別所 春代 田中しず子 齋藤 勝子 藤原ゆき子 塚本 和泉	塩	○永田 寛子 嶋田 律美 今村 郁子 林 よし子	桜	○川北藤田田勢藤 東祖田勢藤 近藤 尾崎 尾崎	下野	○豊田 隆 日置 得祐 野呂 秀 宮下 博一 市川 哲	保々	○市川 収 廣田 通 齋藤さち子 足立恵美子 伊藤 正子	楠	○川合 弘吉 裏川 薫 藤田 倫子 矢田美千代 中村 妙子

平成29年3月31日付けで退任された方-長い間、ありがとうございました。

[三重]中嶌 一泰 様

平成29年4月1日付けで着任される方-よろしくお願いします。

[三重]南 勝信 様

広報委員会

委員長 山田眞美子(河原田)

委員 久志本正彦(羽津) 鈴木正明(日永) 服部善男(三重) 三宅惠子(大矢知)

あとがき -

- ◎…昨年から18歳以上の選挙権が実施されましたが、何とか1票で「明るい社会」を築いてほしいと願うばかりです。
- ◎…選挙権年齢が18才に引き下げられると共に明推協委員の若返りを期待します。
- ◎…四日市市の明推協は全国から注目されていると聞きますが、最近肝心の投票率の低下が懸念されますので、各地区幹事は、 啓発等を通じて投票率向上に努めましょう。
- ◎…18歳選挙権期待しております。投票率を上げていくことは大変ですが、地道に啓発活動を続けていきたいと思います。
- ◎…委員の方々に助けられ今回も「私たちの一票」を発行する事ができました。
- ◎…明るい選挙機関紙が、長い間続けてこれたのも、委員方々の協力があり、また、選挙管理委員会委員長、同事務局長らのお陰であり、心よりお礼申し上げます。

広報委員一同